

第19回 レギュラトリーサイエンス学会 理事会 議事録

令和4年7月4日午後3時00分、WEBシステムを活用して理事会を開催した。

出席理事・監事

代表理事 豊島 聡、理事 新井洋由、理事 梅澤明弘、理事 梅津光生、理事 甲斐克則、理事 柏谷祐司、理事 楠原洋之、理事 久芳明、理事 近藤昌夫、理事 佐藤典宏、理事 成川衛、理事 日吉裕展、理事 宮島光志、理事 山崎力、理事 山本晴子、理事 矢守隆夫、理事 若生治友、理事 渡邊伸一
監事 笠貫宏、監事 山本雅俊

代表理事豊島聡が議長として開会を宣言し、WEBシステムによって出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっていることを理事・監事全員で確認したうえで、次のとおり定足数に達する理事の出席があったので、本理事会は適法に成立した旨を告げた。

理事総数 20名

出席理事 18名

一 決議事項

第1号議案 令和3事業年度事業報告に関する件

本議案につき、事務局から、令和3年9月に社員総会を開催したこと、理事会は同年7月に開催したほか、決算や社員選挙実施のために書面による決議を行ったこと、同年9月に第11回学術大会を開催したこと、学会シンポジウムについては合計5回開催したこと、学会誌については第11巻第3号、第12巻第1号及び第2号を発行したこと、日本薬理学会の依頼を受けて同学会と共催のシンポジウムを計画していること、厚労省の委託を受けて三菱総研が実施するオンライン治験に関する検討委員会に委員を推薦したこと等の説明があった。また、学術大会長を務めた梅津理事から学会として初めてとなった学術大会のWEB開催につきその概要が報告された。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第2号議案 令和4事業年度事業計画に関する件

令和4事業年度事業計画に関する議案につき、事務局から、学術大会やシンポジウム等の開催、機関誌の発行等の事業を例年と同様に実施したいこと、運営に支障のない範囲で短期借入金の返済を考えていること等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第3号議案 令和4事業年度予算に関する件

令和4事業年度予算に関する議案について、事務局から、令和3事業年度については273万円程度の黒字、累積では493万円程度の繰越と見込んでいること、令和4年度については、会費収入については前年度とほぼ同額、学術大会・講演会等の収入及び支出並びに機関誌出版費については過去3か年の平均で、事務局業務委託費について

は前年度と同額で見積もったこと等の説明があった。

理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

なお、決算書類等については、税理士のチェック、監事の監査を受けたものを8月の理事会に諮るが、本理事会は書面開催とすることで了解された。

第4号議案 定時社員総会の開催に関する件

本議案につき、事務局から、定時社員総会を令和4年9月10日に開催したいこと、議題は令和3年度事業報告、同年度計算書類等の承認、任期が満了する理事・監事の選任等を予定していること、出席しない社員は書面等によって議決権を行使できることとしたいこと等の説明があった。理事から特段の意見はなく、議長がその可否について諮ったところ、全員一致によりこれを承認し、可決確定した。

第5号議案 理事・監事候補の選出について

本議案につき、事務局から、本年9月の定時社員総会の終結をもって、現在の理事・監事全員の任期が満了するため、理事会においてその候補を選出し、社員総会に諮る必要があること、多くの理事がすでに再任2回済みとなっているが、再任3回目は任期1年となること、監事は再任2回までとなっているので山本監事は再任できないこと、事業報告でふれた委員会への一部の理事の推薦というような個別の配慮すべき事情もあること等が説明された。

理事から特段の意見はなく、議長から、理事については、「再任なし」の理事7名についてはご本人の内諾が得られるのであれば再任、「再任2回済み」の理事13名については、それぞれの事情やご本人の意向に配慮するとともに、半分程度の理事は交代するというのも視野にいれて、必要に応じ、候補者の内諾をいただいたうえで、その案を8月の書面で行う理事会に提出すること、監事については、笠貫監事は本人の内諾が得られるのであれば再任、山本監事についてはご本人に意向も踏まえて後任にあたり、内諾をいただいたうえで、同様に、8月の書面理事会に提出することが提案された。理事から特段の意見はなく、全員一致によりこれを承認した。

二 報告事項

1 学会の現況の件

本年6月1日現在の学会の会員数が947名（正会員831名、若手会員62名、学生会員54名）であること等について報告がなされた。

2 第12回及び第13回学術大会の件

本年9月9、10日に開催予定の第12回学術大会について、プログラム等が紹介されるとともに、一般演題の応募や学術大会への参加に関する広報のお願いがあった。

また、第13回学術大会については、令和5年9月8、9日に一橋大学一橋講堂において開催することとし、その大会長の選任については、代表理事を中心に作業を行い、8月の書面理事会に諮ることとされた。

三 その他

理事から、機関誌のWEB化について質問があった。事務局から、既にJ-STAGEに掲載

されていること、印刷物の作製・配布をやめれば年間 50 万円程度の経費節減が見込まれること等が説明された。理事・代表理事から、その程度の節減であれば、印刷物の作製・配布のメリットの方が大きいのではないかとの意見があり、現状どおりで対応することとされた。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は午後 3 時 45 分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第 42 条第 2 項の規定に基づき、代表理事及び監事が記名押印する。

令和 4 年 7 月 2 1 日

レギュラトリーサイエンス学会

代表理事 豊島 聰

監事 笠貫 宏

監事 山本 雅俊